



なかの市シニア連だより



第28号

令和5年1月30日発行

発行所

中野市シニアクラブ連合会

発行人 小林伸雄

印刷 レアドーク



6月10日
市町村シニアクラブ連合会ブロック研修会参加の理事の皆さん
中野市壁田 長野県北信合同庁舎



講師 フィットネスサポーター 三浦弘先生による
「楽脳ウォーキングで脳と身体の健康づくり」
皆さん、笑いが絶えない、あっという間の1時間30分のストレッチ体操でした。



会長
小林伸雄

新しい年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。
中野市シニアクラブ連合会会員の

皆さんにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
今年こそ新型コロナウイルス感染症禍からの根絶を願い、制約のない活動が出来ます事を期待すべく日々健康に留意し活動、私は今でも毎年3回程スキーに行きます、長野県民割引大変ありがたいです。滑る事の出来るのも足腰の鍛錬が不可欠。日頃心掛けこの後も続けて行くつもりです。
会員の皆さまも是非自分の出来る

事を実践し、今はコロナウイルス感染症対策で開催を余儀なくされておりますが、いざ決行と成りましたら、シニアクラブ連合会の各事業に積極的に御参加して盛り上げを宜しくお願いいたします。
令和5年が新型コロナウイルス感染症の終焉、世界で勃発している争い等が解決解消と成る年で有ります様、会員の皆様、ご家族のご健康、御多幸を祈念し挨拶とします。

新年のごあいさつ



中野市長
湯本 隆英

新年おめでとうございます。中野市シニアクラブ連合会の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

コロナ禍のなか、日常生活や様々な活動が制限されており、ワクチン接種も進み、社会経済活動は少しずつ回復の兆しが見えてきております。

こうした状況にに応じて、シニアクラブの皆様が、生きがいづくりや健康づくりのほか、文化活動、ボランティア活動など、多様な活動を通じて、地域の活性化に大きく貢献されていることに、心から敬意を表します。

コロナ禍の影響により、人と人との結びつきが希薄になり、改めてその重要性が再認識されているなかで、地域を基盤とし、仲間づくりを基本に、健康づくり・地域づくりを旨とするシニアクラブの活動は、元気に高齢者を増やし、地域福祉を支える担い手として、地域全体での支え合いの輪を広げるものであり、地域の貴重な財産であると考えております。

より多くの方々が、クラブ活動に参加していただくことにより、健康

寿命の延伸、地域づくりの取り組みが一層充実し、全ての人が安心して暮らせる社会が構築されていくことと期待し、市といたしまして、健康で生きがいを持って、住み慣れた地域で自分らしく暮らすことのできる地域づくりに引き続き取り組んで参ります。

結びに、中野市シニアクラブ連合会様が益々ご発展されますことと、会員の皆様方の一層のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年にあたり



長野県議会議長
丸山 栄一

新年あけましておめでとうござい
ます。

会員の皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は、各種事業を通じ、健康づくりや仲間づくり活動にお取り組み頂いており、心から敬意を表します。

近年は、新型コロナウイルス感染症が日常生活に大きな影響を与える中において、皆様がその豊富な人生経験に培われた幅広い知識や技能を生かし、積極的に社会活動に参加され、地域づくりの担い手として活躍していただくことを期待しております。

しかし、ライフスタイルの多様化により、若年高齢者のクラブ離れが

進んでおり、高齢者の取り巻く環境や社会ニーズも大きく変わってきており、「人生百年時代」を前提とした目指すべき高齢社会の姿を明確にし、地域で生きがいを持って活躍できる仕組み作りにも県も各種事業を支援することにより、生きがいと健康づくりを推進しております。

私も、生涯を通じて健康で心豊かに生き生きと暮らせる、活力あふれる社会の実現を願い、皆様方と手を携えて鋭意努力してまいります。

コロナ禍の中、改めて人と人とのつながりが重要だと認識して、いまつながりづくりのためにも、クラブの活動の役割は益々重要になってくると考えます。

終わりに、今年こそ、一堂に集まって健やかな姿で活動ができるよう願っております。貴連合会の益々のご発展と会員の皆様方にとりまして、今年が良き年になりますようご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶



長野県議會議員
小林 東一郎

新年おめでとうございます。中野市シニアクラブに集われる皆様には、清々しい新年をお迎えのことと存じます。この一年が恵み多き年となりますことを祈念申し上げます。

コロナ禍も足掛け4年となります

が、未だに出口が見えません。基礎疾患をお持ちの高齢の方には、依然として注意を要する感染症であることに変わりはなく、昨年末からの第8波で、本県でも陽性者が増加し病床使用率が高まったことから、医療非常事態宣言が発せられています。

県では、高齢等コロナ感染に注意しなければならぬ人向けの注意喚起を行っております。人との接触の抑制など感染予防策を呼びかけるものですが、やはり重症化を防ぐワクチン接種が決め手です。前回の接種から3カ月の間隔で5回目の接種ができますので、身を守る観点からの接種を家族ぐるみでお勧めします。

一方で、積み上げられてきた知見から、マスクを外しての至近距離での会話さえ注意すれば、屋外での活動に制限は必要ないようです。専門的なアドバイスを行政等から得ながら、「がまん」ではなく「できる」とはやろう」に踏み出してはいいかでしょうか。

地域の医療を守り、一日も早い感染終息への道筋を付けていくことが望まれます。何よりも命を大切にする県政を実現し、中野市シニア連並びに各クラブの活動が以前の状態に戻せるよう努めてまいります。引き続きご指導賜りますことをお願い申し上げます。



新春にあたり



中野市議会議長
青木正道

新年明けましておめでとうございませう。中野市シニアクラブ会員の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

長引くコロナ禍の中、昨年はオミクロン株による感染拡大の急激な波が押し寄せましたが、新たな行動制限は行わず、医療体制を確保し、重症化リスクのある高齢者等を守ることに重点が置かれました。また、ワクチン接種を推進しながら、各種大会やイベントの開催、全国旅行支援の実施など、感染拡大防止と社会経済活動の両立が図られて参りました。

他者との交流や社会参加を積極的に行うことは、死亡率低下、フレイル予防、認知症予防につながると言われております。会員の皆様には、「新しい生活様式」を実践していただくとともに、活動を通じて、健康増進に努めていただき、地域で高齢者を支え合う「地域包括ケアシステム」の担い手として、お力添えいただきたく存じます。中野市議会としまして、全ての市民が、地域で支え合い、生涯にわたっていきいきと健康に暮らすことができるよう取り組んで参ります。

2023年の干支は「癸卯（みずのと・う）」で、「これまでの努力が花開

き、実り始める年」といわれています。コロナ対策が実を結び、感染が収束することを願っております。

結びに、中野市シニアクラブ連合会の益々のご発展と会員の皆様方の一層のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。新春のごあいさつといたします。

地域医療より

特集

新型コロナウイルス4年目の新年にあたって



J.A長野厚生連北信総合病院
統括院長
荒井裕国

新年あけましておめでとうございませう。中野市シニアクラブ連合会の皆様におかれましては、今年も健やかな一年となりますことを心より祈念申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスが収束するかと思いきや、夏の第7波、そしてほとんど間を空けることなく年末にかけて第8波に見舞われ、陽性者数も感染の波を重ねるたびに増加の一途をたどりました。一方で、コロナウイルスがオミクロン株に変異したことで、一昨年来

でのようなコロナウイルスそのものが原因での重症肺炎の患者さんは、ほとんど見られなくなりました。どうやらコロナウイルスは、変異を重ねるたびに人に感染させる力は強くなるようですが、一方で毒性は下がる傾向にあるようです。こうして新型コロナウイルスは、若い人が罹っても大きな心配のいらぬ病気になるにつあり、世の中としては経済を回すために様々な規制が緩和されてコロナを受け入れる方向に向かっています。しかしながら、感染者数全体が増えると、家庭内感染などが原因で高齢の方の感染者数が結果的に増えてしまいます。ここが厄介なところで、高齢の方が一旦コロナに罹ると、基礎疾患が悪化したり、喉が痛くて水分が十分に摂取できず脱水となったり、痰が上手く出せずに誤嚥性肺炎を起したりされます。このため、80歳台や90歳台、時には100歳を超えるご老人がコロナをきっかけに体調を悪くしてしまい、場合によっては命を落とすことにもなりかねません。実際に、第7、8波では、コロナ

コロナ患者さん用の病床を増やすことで、なんとかぎりぎりの対応で乗り切りました。ご高齢の方の中には認知症の方もおられますので、きめ細かいお世話が必要となりますが、職員も本当に頑張つて治療に力を尽くしてくれています。新型コロナウイルスが始まって4年目になり、そろそろ終わってほしいものですが、残念ながらこの状況は、まだしばらくは続くものと思われま

そのものの重症化率が低下しているにもかかわらず、お亡くなりになられた方の数は増えております。シニアの方々におかれましては、引き続き、うがい・手洗い・換気・密な場所でのマスク着用などの基本的な感染対策を守ると同時に、オミクロン株対応のワクチン接種を受けられることをお勧めいたします。ワクチンを接種してもコロナに罹ってしまうことはありますが、ワクチンには少なくとも重症化を防ぐ働きがあります。北信地域は、特に高齢の方が多いため、病院としては、

私も医療人は、時にこの兔のごとく、我が身を捨てて献身的に病める人のために尽くさねばなりません。地域がウィズコロナに向かつて暮らしの活気を取り戻すためには、どんなに忙しくても、この地域の人々を病から救い安心して暮らせるべく力を尽くす。それが、地域の中核にある多機能急性期病院としての私どもの務めでありませう。私どもは、北信地域に輝く満月の兔となつて、今年も、地域の皆様の健康と暮らしを守つて参りたく思います。本年が、皆様方にとって幸多き年となることを心よりお祈り申し上げます。

85歳の青春



中小企業診断士
経営コンサルタント
児島保彦



「青春とは人生のある期間ではなく心の持ち方を言う（中略）」
ときには20歳の青年より60歳の人に青春はある
年を重ねただけでは人は老いない、理想を失うときはじめて老いる
人は信念とともに若く、疑惑とともに老いる、人は自信とともに若く、恐怖とともに老いる、希望ある限り若く、失望とともに老い朽ちる
頭を高く上げ希望の波をとらえる限り、80歳であろうと人は青春にして已む」
アメリカの詩人で実業家であったサミュエル・ウルマンの詩を抜粋してご紹介しました。戦後の復興期に経営者であった松下幸之助や、電力の鬼と言われた松永安左エ門はこの詩によって勇気付けられたと聞きます。
450年前に織田信長が人生50年と舞いましたが、今では2倍の100歳以上の人が10万人いるそうです。私は9月に85歳を迎えました、ここまではお陰様でウルマンの

青春の心で生かされてきました。100歳まであと15年しかないと思われませんが、私は「あと15年しかない」と思う方です。そのあとの言葉は「残された短い人生を興味がわいたことを、とことんこだわって、とことん考えて、とことん挑戦すること」を信条としています。そのキーワードは「楽しい」でなければなりません。
勿論「とことんこだわる」ためには健康であることが条件になります。人の寿命は誰にもわかりません。そうなら必要最低限の身体管理をして、あとは天命にお任せする心を持つとうと思います。しかし、悟ったようなことを言っています。が、いざ修羅場になれば、どのような心の様相になるかはわかりません。
私の仕事は企業の医者です。データを分析し、対策を立てて改善案を示します。お客は私の孫にあたるIT企業の若い経営者たちです。私の本を読んで東京や大阪からやってくるのです。彼らは最先端のデジタル技術には精通しています。が、経営の基本や経験からくる対処の仕方についてはわからないのです。そんなとき、何よりも楽しいことは、孫にあたる若者たちの会社有一段と成長するのを目の当たりに見るときです。ウルマンが詠ったように「頭を高くして希望の波をとらえ続けたい」と、贅沢な夢を追いかけたいです。

部会報告

教養文化部

主な流れ

5月20日

第1回教養文化部会
市シニア連だより27号発行について

6月30日

シニア連だより27号発行
8月19日

第2回教養文化部会
市シニア連だより28号発行について

9月2日

第3回教養文化部会
市シニア連だより28号発行について

昨年度に続き、北信総合病院に原稿依頼

11月11日

第4回教養文化部会
市シニア連だより28号発行について

令和5年1月30日

シニア連だより28号発行

シニアクラブ会員の減少について

減少について

教養文化部会会長 木村安雄

今回役員になって、事務局より会員数を確認したところ、

令和3年度は、1125人
令和4年度は、965人、
160人の減少を知り、大変驚きました。
原因を尋ねると、

1. 役をやるののがいや
2. メリットがない
3. 行事が程んどない
4. 楽しくない

のような事を知りました。この傾向は、マレットゴルフ、ゲートボールにも現れております。

確かに、コロナ禍の影響で活動が出来なかつたり、若い時と違って大変です。

シニア人口が増加しているにもかかわらず、会員数が減少している。これを考えますと、更に、退会予備軍がひかえていると思います。

これに歯止めをかけるには、年1回総会とは別に、各単位クラブの会長様に、集まっていたいただきお互に現状を話し合い、今困っている事、問題としている事、希望している事、といういろいろな事を話し合い、問題がある場合は、すみやかに対応する事により会員数の減少を、くいどめることが可能になると考えます。

企業のゴーイングコンサーン（継続企業）と同様に、末永く続けて地域社会に貢献していくことが、シニアクラブの1つの目標と考え、より良い社会を作っていきたい、ものです。



社会福祉部

社会福祉部会での活動

部会長 春原 功治

中野市シニア連の研修旅行でお役に立ちたいと部会長に就任させて頂きました。第1回福祉部会では折しも新型コロナウイルス第7派の拡大の中、今後の収束と過去2年の中止もあって今年是非決行したいとの意見もあり今年の研修旅行は11月21日、22日に山形県由良温泉行と計画しました。定員40名の大型バス1台で参加者多数の場合は先着順と致しました。全国旅行支援キャンペーンもあり大勢の参加者を期待しての第2回(決定)部会でしたが結果は参加者15名と最低参加人数30名に達せず残念ながら今回の計画は中止となりました。参加者低調の理由は、新型コロナウイルスでの不安、旅費価格、1泊での体調不安等様々でしょうが、楽しい旅行を通して市内シニア連の仲間達と広く交流できる良い機会でもあり皆が気軽に参加できる条件・形態に如何にするか今後の課題として残りました。

体育厚生部

体育厚生部会

部会長 高橋 勇治

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっており、

各地で影響を受けています。体育厚生部会では5月に部会を開き活動計画を協議してまいりましたが残念ながら現在第8波に入り、益々猛威をふるっている状況であります。コロナワクチンの接種も5回の実施になりました。しかし中々、減少の兆しは見えてきません。無理をして実施しても会員の皆様の安心安全を図れない状況のため、本年もやむを得ず中止いたしました。

皆様には来年を期待し、日頃の練習にはげんでいただければと思います。来年こそ全員笑顔で楽しい大会が出来るようマスク・手洗い・ウガイ・換気を徹底しましょう。そして全員が笑顔で楽しい大会を実施できるようになることを願いましょう。



行く雲に心を託して

女性部会長 清水 榮子

新型コロナウイルスの感染拡大で行動制限が余儀なくされ外出がままならず不快に過ごされている方が多いと思います。

シニアクラブの活動は今年も感染が落ちつかず安全面から活動計画の大半が中止になっていることがとても残念です。やはり人と人との交流の中で会話することの大切さが改めて考えさせられます。人生マラソンの折り返し点を過ぎ健康で楽し



風呂敷で針と糸を使わず結ぶだけでいちごバックを作成 他にもリュックサックも大きな風呂敷で作ることができます。



7月7日 県シニアクラブ女性指導者研修会 参加理事 長野市松岡 長野市リサイクルプラザ

く人生を送られれば一番と思つている所への今の仕打ちでは何かする意欲も薄れてしまっていますね。私は空を見上げて雲の表情を見る事が大好きです。毎日違う雲の流れに自分の気持ちのせて想像することによって脳の刺激になったり気持ちがリラックス出来ることです。皆さんも一度ためしてみたいかがでしょうか。そして元気にこの時期を乗りこえて次年度の活動に参加していただきたいと思ひます。

9x9 grid for Nanpre puzzle

ナンプレ 上級

9x9 grid for Nanpre puzzle

ナンプレ 初級

※答えは最後のページにあります。

※答えは最後のページにあります。

祝

表彰



令和4年度
県知事表彰
(社会福祉表彰)

滝沢 忠さん

市シニア連活動記録

4月

中野市老人クラブ連合会より中野市シニアクラブ連合会に名称を変更

4月15日

新旧理事会
於 中央公民館

4月27日

評議員会
(コロナ感染防止のため中止)

6月9日

北信ブロック研修会
於 長野県北信合同庁舎

6月24日

第17回マレットゴルフ大会
(コロナ感染防止のため中止)

6月30日

第27号「なかの市シニア連だより」発行

7月7日

県シニアクラブ女性指導者研修会

9月21日

於 長野市リサイクルプラザ
第10回県シニア連マレットゴルフ大会

9月23日

ふれあい広場
(コロナ感染防止のため中止)

10月4日

第22回ゲートボール大会
(コロナ感染防止のため中止)

10月20日

第62回長野県シニアクラブ大会
(コロナ感染防止のため参加中止)

11月9日

女性部講習会
(コロナ感染防止のため中止)

11月21日

市シニア連研修旅行
由良温泉と加茂水族館他名所巡り

(最小催行人員に満たないため中止)

市町村シニアクラブ連合会
ブロック研修会

6月9日(木) 長野北信合同庁舎
講堂において10時30分より開催
午前中は活動発表
まとめると

地区奉仕活動(公園・神社草取り
花植他マレットゴルフ ゲート
ボール ボッチャ カラオケ 等)
いろいろと活動がありました。各
クラブの会員減少は大変な問題で
共通のなやみであります。

この課題に、真剣にとり組まなければ、クラブの将来はありません。

会員が、憲章にあるように、奉仕活動に参加し、その知識と体験を生かし、世の為、人の為、になりますよう残り少ない人生を送りたいと考えて、おります。午後は健康運動指導士、工学博士、三浦弘先生による楽脳ウォーキングで、脳と身体の健康つくりで運動して、閉会致しました。



更科福寿会 活動報告

はじめてのポッチャ競技大会

更科福寿会 会長 笠原光男

我々、更科福寿会は1年間の活動がほぼ決まっています。そんな中、7月13日に取り入れた活動は各地区で行われ始めている「ポッチャ」競技だ。帯の瀬ハイツにポッチャ競技用のコートがあることを知り、それではと帯の瀬ハイツに連絡し、このポッチャ競技を早速取り入れてみることにしました。少しでも身体を動かして会員さん同士の交流と親睦に繋がればと思います、はじめてのポッチャ競技大会を開催しました。参加者は会員の約半分の20名でしたが皆さん、ポッチャと言う競技をテレビなどで観たり聞いたりしたことがあっても実際に触ったことも行ったこともなくチンプンカンプン。まずは簡単なルール説明をした後に1チーム3名の団体戦に、もちろんボールを見るのも触るのも初めてですから上手いく訳でもなく、強く投げたり加減をしすぎたりと始めは手探り状態でしたが次第に慣れてくるにいたがいコントロールも良くなり会員の皆さんは和気あいあいと楽しそうでした。

今後、このポッチャ競技を個人戦・団体戦など取り入れて会員さん同士の交流と親睦を深めていきたいと思います。

大熊松寿会 活動報告

お宝ビデオ観賞会

大熊松寿会 会長 酒井忠雄

シニアクラブ大熊松寿会の一環として、憩いの場「ひだまり」で平成11年に撮影した第11回の区民運動会のビデオを10月27日に大熊公民館で約20名で観賞しました。当時の区長は柴本進さん、公民館長は柴本昇さんで、当時の区民の皆さんの参加で和気あいあいと賑やかに、楽しく行なわれました。

最初は全員で体ならしの為ラジオ体操第一を行ない、その後は色々な競技が繰り広げられた。22年前のビデオを見ながら「あ、あの人はもう亡くなっちゃったな」とか自分や知人が映しだされると「若くてあんな時もあったのだな」とその当時は回想しました。映像時間は1時間20分、その当時の映像にしてははつきりと映しだされていた。参加者曰く「あ、あの当時に戻りたい」と言っていました。それが本音かも……

大熊のお宝映像はまだたくさんあるので又後ちの機会に映し出したいと思っています。



草間区草寿会 活動報告

草間区草寿会の活動

草間区草寿会 会長 春原功治

高丘地区で現在活動している唯一の単位シニアクラブとして会員数35名、69才から86才までの平均年齢78歳の会です。

毎月の例会日は、草間公会堂に安置されている観音菩薩を古くから村人たちが供養してきた17日の観音さんの日と決めています。本会の特徴



は観音さんを拝んだ後、シニア憲章と般若心経を出席者全員で唱え最後に念仏を唱えながらお数珠を数回廻して終わります。一連の所作を済ませた後は各自が持参した煮しめを着に懇親会が始まるのですが、最近には新型コロナウイルスの影響でこれは休止状態です。その他の活動としてはマレットゴルフ大会、公会堂花壇の植替えと管理、真夏の暑気払いそして時々中野まなびい塾の講師を招き講習会も行っています。締め括りとして年末には忘年会があり、一昨年は帯の瀬ハイツにてカラオケ大会で盛大に盛り上がりました。

柳沢長寿会 活動報告

柳沢長寿会の活動について

柳沢長寿会 会長 山田 忠延

柳沢長寿会では10月2日、柳沢マレットゴルフ場に於いてマレット初心者を対象にしたマレットゴルフ体験会を開催しました。

柳沢マレットゴルフ会の会員が、高齢化等により年々減少しているとの、話をお聞きするなかで、折角地元立派なゴルフ場が有るのに勿体ないと思う事から、長寿会会員の中で、マレットゴルフ未経験者の皆さんに、マレットゴルフの楽しさを味わって、もらえたらと企画しました。

当日は初心者経験者を含め14名の皆さんに参加頂きました。初心者は社会福祉協議会から貸し出し用のスティックとボールをお借りしてマレットゴルフ会の会長さんの指導を頂き乍らコースを回りました。私もそうで



すがボールの芯に当てるのと、カップの回りでは打つ方向や強弱の加減が難しかった様です。それでも皆さん楽しそうにプレーをしていました。今後もこの様な機会を多く設けることにより、より多くの長寿会員の皆さんにマレットゴルフに親しんで頂けたらと思っております。

ナンプレの答え

▼初級

3	9	7	5	8	6	4	1	2
5	1	6	9	4	2	3	8	7
2	8	4	1	7	3	6	5	9
6	4	1	2	3	5	7	9	8
8	2	3	6	9	7	5	4	1
7	5	9	4	1	8	2	3	6
4	6	8	3	2	9	1	7	5
1	7	5	8	6	4	9	2	3
9	3	2	7	5	1	8	6	4

▼上級

7	8	9	4	6	5	3	2	1
4	3	1	9	7	2	5	8	6
2	6	5	1	3	8	7	4	9
8	4	3	5	2	1	9	6	7
6	9	7	3	8	4	2	1	5
1	5	2	6	9	7	8	3	4
3	1	8	7	5	6	4	9	2
9	7	6	2	4	3	1	5	8
5	2	4	8	1	9	6	7	3

短歌

上小田中 双葉会

頓所 てる子

コスモスの

花群揺れる道端を

豊かに和み一人歩ゆめり

雨の日は

篤と休める楽しみに

読書しようか折紙しようか

スーパーの

棚に並び寂聴の

追悼本を買ひ物かごに

美術館に

阿形咩形近くに見ると

木彫なのに凄い目力

(めじから)

編集後記

シニア会報、第28号発刊の運びとなりました。寄稿してくださった、方々に御礼申し上げます。地球温暖化、氷山、氷河が消滅し、海面が上昇、世界中の海水中にプラスチック「ゴミ」が溶けこんでいる。

最近では、コロナ、オミクロン、第8波がきており、どのように、終息するのか想像出来ません。昨年12月の、理事会では令和5年度の事業計画は、すべて実施して行く方向の意見が出ました。

ロシアがウクライナに侵攻し、たくさんの人々が犠牲になっています。軍事力がある国が弱い国を攻撃する、こんな事は、絶対に許されないこと、戦争が終息して、破壊したものを再建する、費用は誰が負担するのか、更に地球温暖化に拍車をかける、大国からみればゴミみたいな国を攻撃する、我々国では同盟国同志で軍事費を増額する。

こんなことを、しなくてもいいのでは。

議員、上層階級の汚職等、様々な事が、発生。この用な背景を、将来の子供達にどの様に継承してゆくのかわかりません。真の文化国家になってほしいです。

文責 木村安雄